

## 公益社団法人宮城県獣医師会の会報投稿要領

### (目的)

第1条 この規程は、公益社団法人宮城県獣医師会会報「みやぎ獣医師」（以下「本誌」という。）の原稿の投稿に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

### (編集の区分)

第2条 本誌の編集の区分は、学術、研究、業績ノート、症例報告、資料、随想、本会ニュースなどとする。学術は学術・広報委員会が依頼したものを主とする。

### (発行)

第3条 本誌の発行は1月、4月、7月、10月の年4回とする。

### (原稿の取扱)

第4条 投稿原稿の採否は、学術・広報委員が論文を査読し決定する。また、内容および表現について著者に修正を求めることがある。

### (投稿)

第5条 本誌への投稿者は本会会員に限るが、依頼原稿についてはその限りではない。また、会員以外の共著者を含むことは差しつかえない。

第6条 投稿原稿の1篇の長さ（図表などすべてを含めて）は、原則として、刷り上り、学術6頁、研究4頁、業績ノート4頁、症例報告2頁、随想4頁以内とする。なお、刷り上り1頁は、1行23字、41行の2段組（約1900字）とする。

第7条 原稿は原則としてパソコンを用いて作成し、電子記憶媒体（CD-R、メモリースティック等）に保存し、A4サイズの原稿1部とともに提出する。電子記憶媒体には氏名、ソフト名、保存ファイル名を記したラベルを貼る。電子メールで投稿する場合は、原稿を添付ファイルとして、件名、発信者名を明確にして送付する。原稿を筆記用具で執筆する場合は、A4版400字詰め原稿用紙を用いて横書きとする。

### (執筆)

第8条 本文は1頁の最上段に標題、所属機関名、著者名を記載する。投稿後、所属機関が変更した者がいる場合には、その著者名の右肩にアラビア数字を付し、脚注に現在の所属機関名を明記する。

第9条 研究論文の構成は原則として以下の順とし、ローマ数字の番号をつけ、ゴシック体で書く。

要約 I. はじめに II. 材料および方法 III. 結果 IV. 考察 V. まとめ 引用文献

なお、それぞれの項目の小項目には1、(1)、1)、①の順に見出しをつける。

第10条 図・表は写真版にするため、出来る限りていねいに作成し、それらの挿入位置を本文の右欄に赤字で明示する。

図、表、写真は原稿の最後にまとめて添付し、必要があれば簡単な説明をつける。

第11条 引用文献は本文中の該当事項の右肩に<sup>1)</sup>、<sup>2~4)</sup>のように引用順に一連番号を付し、論文の末尾に引用順に1)、2)の番号をつけてまとめる。

文献は、著者名（出版年）論文の表題、雑誌名、巻、掲載頁の順に記入する。

### (和文例)

1) 大森昭一郎 (1977) 最近の牛の飼養技術の動向とその問題点, 宮獣会報, 31, 41~55

### (欧文例)

2) Mytton L. R. A. Grasswell and P. Colbourn (1993) Improvement in soil structure associated with white clover, Grass and Forage Sci., 48, 8490~8496.

著者名は3名までは全員の氏名を記載し、それ以上の場合は他（または et al.）と記して省略する。

### (雑則)

第12条 原稿投稿の謝礼は、別表のとおり支給する。